

2024年度上期 連結決算状況

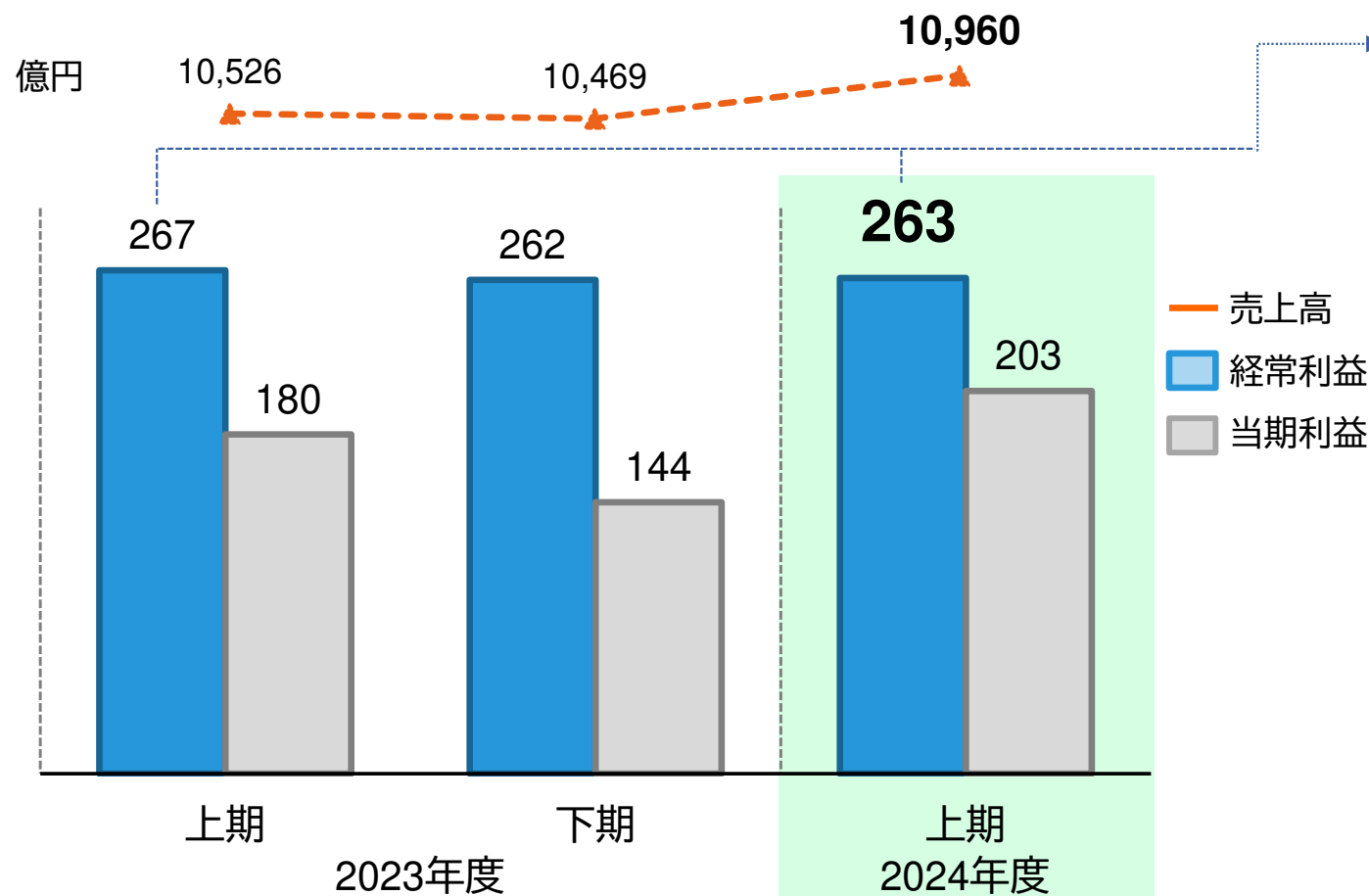
2024年11月



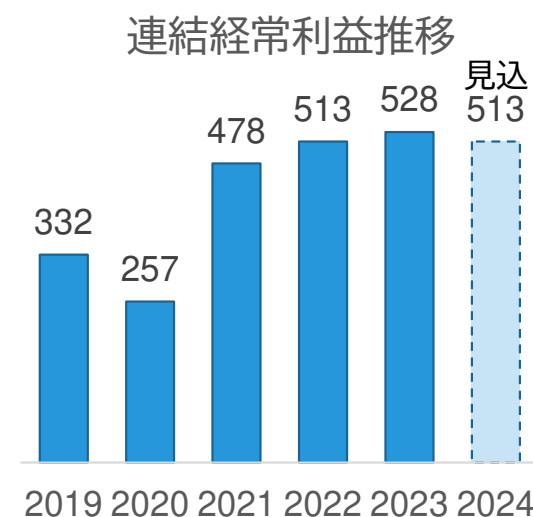
日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING

2024年度上期連結決算のポイント

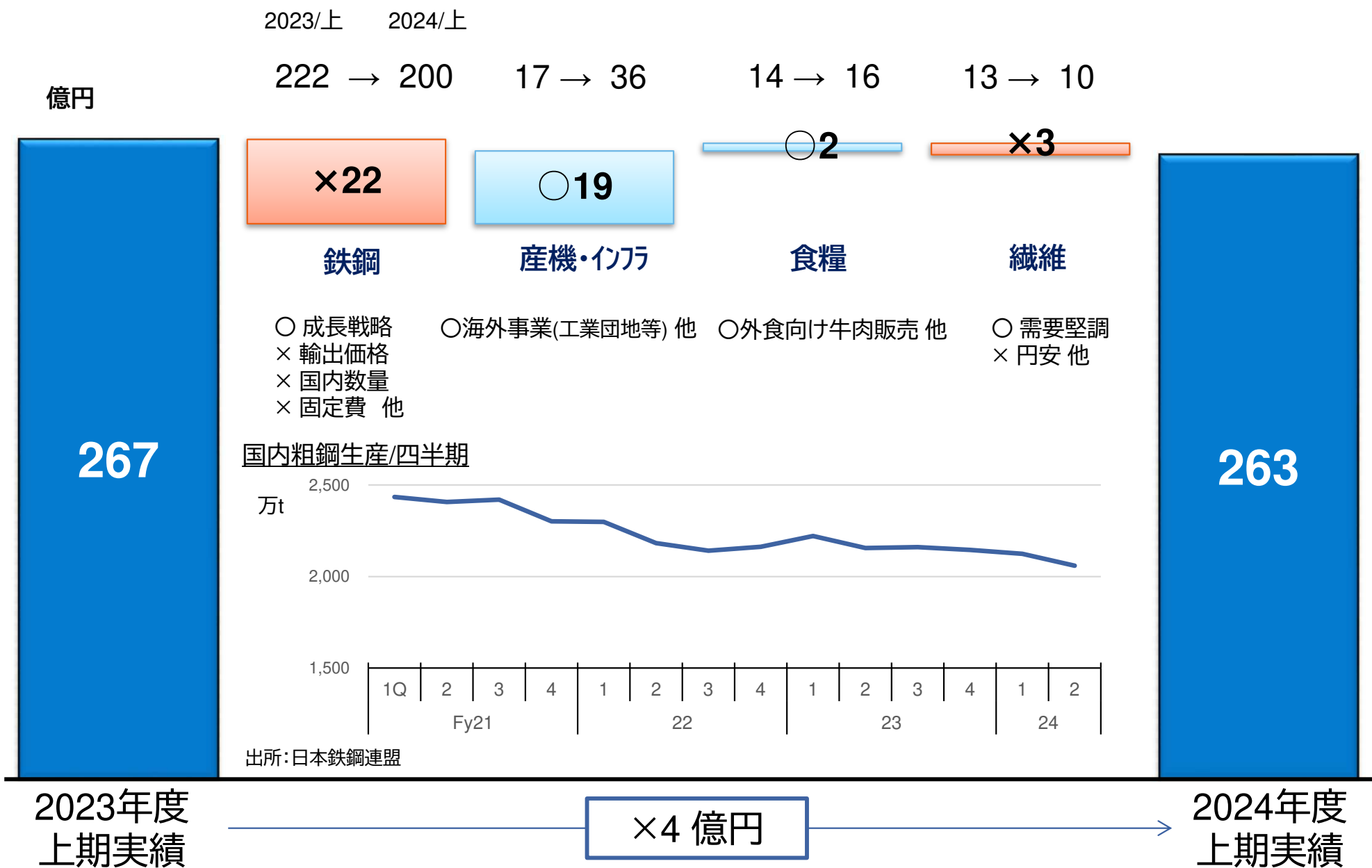
- 鉄鋼事業は、建築分野の需要停滞等による国内鋼材消費の減少や海外鋼材市況の低迷等、厳しい環境が継続。
- 鋼材価格下落影響や人材投資の強化による固定費増加(ベア他)はあったものの、成長戦略の実行等による限界利益の増加や産機・インフラ事業における海外事業の収益改善等により、経常利益はほぼ前年同期並みの263億円。
純利益は、連結子会社に係る特別利益の計上等により上期での最高益を更新。



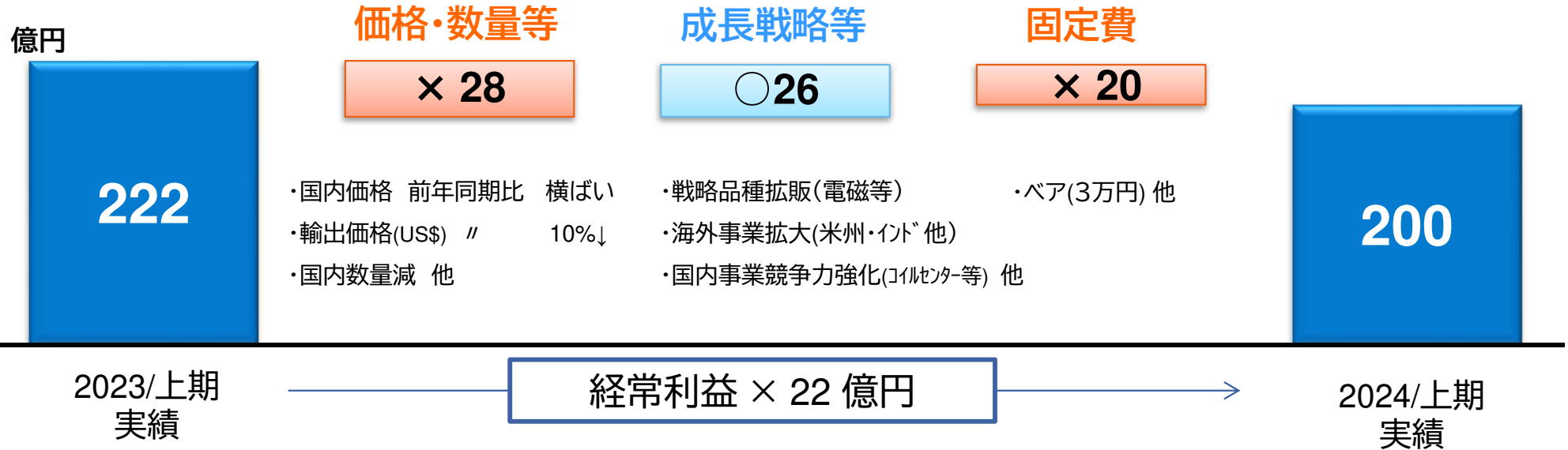
	23上→24上
経常利益増減	× 4 億円
鉄鋼	× 22
産機・インフラ	○ 19
食糧	○ 2
繊維	× 3



経常利益増減要因 (2023年度上期実績→2024年度上期実績)



鉄鋼事業経常利益増減 (2023年度上期実績→2024年度上期実績)

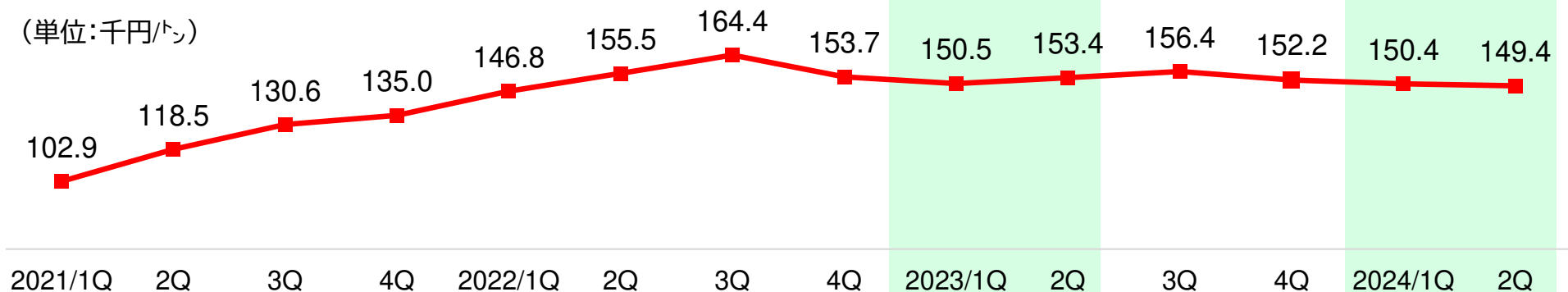


当社連結鋼材取扱量

万トン	2023/上期	2024/上期	増減
連結計	825	899	+ 75
国内	464	452	△ 12
海外	360	447	+ 87

当社単体鋼材販売価格

(単位:千円/トン)



TOPICS

1. 電機資材(株)の子会社化 (2024.5.30公表、2024.8.1実行)

- 国内外における営業基盤、サプライチェーン機能の更なる強化を目的として、電磁鋼板専門商社である電機資材を子会社化。同社との一体運営により、国内・海外における電磁鋼板の営業力及び加工体制の強化・最適化を目指す。

2. メキシコにて電磁鋼板用コイルセンターを建設中 (2025年4月稼働予定)

- 現在、北米のEV関連需要を捕捉するための重要な供給基地として、電磁鋼板の加工に特化したコイルセンターを建設中（産機・インフラ事業本部が総代理店を務めるメキシコのリンテル工業団地内）。

3. シンガポールにおける土木建材製品販売大手Mlion社への出資 (2024.10.1公表)

- 戦略的な協業を通じて、今後更なる成長が見込まれるASEAN地区における土木建材インフラ需要を取り込み、当社グループの海外事業基盤強化を図る。

※本出資の実行は、株式譲渡契約書に定める前提条件が満たされること等を条件

4. 当社とNS建材薄板(株)（旧日本鐵板(株)）の合併 (2024.10.1)

- 合併により、建材分野における4つのパーツ（建築・工事・土木・建材薄板）を揃え、一貫競争力の強化を図るとともに、強靱で付加価値の高いサプライチェーンを構築する。



Mlion社とのサインングセレモニーにて
（左Mlion社CEO Mr Leong Jia-Le, Eric、右 当社中村真一社長）



建設中のメキシコ電磁鋼板コイルセンター（2024年10月時点）

日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。



日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING